

2

産業・雇用

活気ある産業のまち
多くの人を訪れるまち
地域経済が元気なまち
安心して働けるまち



2 産業・雇用



2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興



4年間で実現したい姿

水産基盤の整備やハマチのブランド化の成功による販路拡大、水産関連イベントの来場者数の増加などにより、水産物の漁獲量や収入が増加し、水産業に活気が生まれています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
海面漁業漁獲量	3,647トン (平成29年度)	3,652トン
あたたハマチ to レモンの価格	900円/kg	1,200円/kg

地域住民と関係団体、市が連携し、農業の担い手育成や農地・農業環境の整備保全、特産品の開発などが進み、農村部に活気が生まれています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
新規就農者数(累計)	0人	1人

現状・課題

おおたけカキ水産まつりの来場客は、多い時で1万7千人を超え、大竹市の水産物のPR及び販売の良い機会となっています。おおたけ水産GOGO市の知名度は上がっていますが、漁獲量の減少や、魚価の低迷で販売しても収入増につながらないなどの理由で販売水産物の量や種類が限られており、来場者数は横ばいの状況です。

あたたハマチ to レモンの知名度は上がっていますが、生産コストに見合った魚価になっておらず、販路拡大につながっていません。

農村部の人口減少などにより、耕作放棄地になりそうな農地が多数あります。

後継者や担い手が減少する中で、農地・農業に対する思いや方向性を地域全体でしっかりと共有することが求められています。

マロンの里を中心に、地元の特産品を使った商品開発が進められていますが、十分な生産・販売体制の確立には至っていません。

地域の要望に基づき、農道・農水路・林道の修繕などを行っていますが、長く機能を維持するための予防保全型の維持管理ができていません。

取組の方針

- 根付魚を中心とした種苗の放流への補助や漁礁、藻場造成、底質改善などの水産基盤整備により、漁獲量や魚価の向上と市場の需要に合わせた供給をめざします。
- おおたけ水産GOGO市やおおたけカキ水産まつりなどを大竹市の水産物の販売促進及びPRの場ととらえ、積極的な情報発信による来場者の増加に取り組みます。

主な事業	水産業振興事業	産業振興課
------	---------	-------

- 市内だけでなく市外も視野に入れて、価格を一定水準に保ちながら販路を拡大します。
- 生産コストの低減に向けて、新たな養殖業者が参入できるような仕組みづくりに取り組みます。

主な事業	水産業振興事業	産業振興課
------	---------	-------

- 鳥獣被害対策や耕作放棄地調査を行い、農地の保全や、利用権設定の促進などによる有効活用に取り組みます。
- 生産者の意欲向上や収入増により地産地消を促進するため、給食センターへの出荷を行います。

主な事業	鳥獣被害防止対策支援事業 ひろしま給食地産地消促進事業	産業振興課
------	--------------------------------	-------

- 栗谷町と松ヶ原町の住民の意向を把握し、方向性を共有しながら、それぞれの集落に合わせた「人・農地プラン」の策定をめざします。

主な事業	農業次世代人材育成投資事業	産業振興課
------	---------------	-------

- 引き続き地元産品のブランド化や商品開発を進めるとともに、安定した生産・販売体制を構築し、マロンの里の集客増・収入増につなげます。

主な事業	農業振興事業 (農産物などのブランド化・商品開発支援)	産業振興課
------	--------------------------------	-------

- 地域全体を考えた計画的な修繕により、農道・農水路・林道の機能を維持します。

主な事業	農道・水路維持補修事業 林道維持管理事業	土木課
------	-------------------------	-----

総合戦略 国土強靱化地域計画



2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興



4年間で実現したい姿

市の主要産業である素材型産業を担う大手企業が堅調な経営によってまちの発展を支えています。中小企業は経営が安定し、新たに起業・創業する人が増えています。商店などは新たな社会環境に適応した経営を行っています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
市内事業所数の減少率 (5年に1度実施される経済センサス-基礎調査の数値を引用します。次回は令和7(2025)年度公表予定です。)	△3.2% (平成26年度: 1,287事業所) ↓ 令和元年度: 1,246事業所)	△3%以内 (令和元年度) ↓ 令和6年度)

現状・課題

企業用地の不足などにより、既存企業の業務の拡張や、新たな企業の進出などに対応できていません。またデジタル化などの新たな社会環境への対応が急務となっています。

給水制限や停止をすることなく、安定した工業用水の供給ができてい一方、老朽化した施設や管路の更新が課題となっています。

中小企業者の状況を把握する手段が限定されており、全体的な課題把握が難しい状況です。また、開業・創業者数は毎年一定程度あるものの、市全体の事業者数は減少しています。

市外客の呼び込みにより、大型店の経営は比較的安定していますが、既存の商店街などの店舗の多くは社会環境の変化に対応できず、常連客に支えられている状況です。

取組の方針

総合戦略 国土強靱化地域計画

- 既存事業の業務拡張や改善, 新たな企業進出などに向けて, 関係機関と連携しながら, 効果的な施策を検討し, 実施します。

主な事業	商工振興事業	産業振興課
------	--------	-------



- 施設の老朽化に伴う更新費用の増加を踏まえながら, 効率的に施設の改良・更新・耐震化に取り組みます。

主な事業	工業用水道設備維持管理事業	上下水道局
------	---------------	-------



- 関係機関との連携を強化し, 中小企業の実態や課題, ニーズを的確に把握しながら, 効果的な施策を検討し, 実施します。
- 創業希望者に対し, 経営・財務・人材育成・販路開拓などの創業支援を行います。

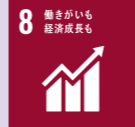
主な事業	中小企業経営安定支援事業	産業振興課
------	--------------	-------



- 新たな社会環境に適応した個性的で魅力ある商店などの創出に向けて, 関係機関と連携して支援を行います。

主な事業	商店街等振興奨励事業	産業振興課
------	------------	-------





2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興

4年間で実現したい姿

魅力あるスポットや商品が市内外に周知され、観光客や市内消費が増加し、産業の振興と地域の活性化につながっています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
市内観光客数 (1月～12月)	470,318 人	520,000 人

現状・課題

観光客数は増加傾向にあることから、今後は市の魅力を市外に発信することで、観光客をさらに増やし、消費に結びつけていく必要があります。

取組の方針

- 関係機関と連携した市内の観光資源や観光ルートの開発促進などに取り組みます。
- 広島市を中心とした広島広域都市圏域での連携も含めて、時代に合わせた効果的な情報発信を行うことで、大竹の魅力発信と知名度の向上に取り組みます。
- 「大竹生まれ商品登録制度」に登録された商品のPRに取り組みます。
- 「大好き大竹応援大使」を活用した、市外へのPRに取り組みます。

主な事業	観光宣伝等事業	産業振興課
	広報事業	企画財政課

総合戦略 国土強靱化地域計画



2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

4年間で実現したい姿

働きやすい環境づくりに取り組む企業が増え、一人ひとりのライフスタイルなどに合った働き方ができる市民が増えています。企業も従業員が確保でき、経営が安定しています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48 (年間新規求人数 1,820人 / 年間新規求職者数 1,231人)	1倍以上 2倍

現状・課題

仕事と生活の調和を図る「ワーク・ライフ・バランス」に取り組む企業は増加していますが、新型コロナウイルス感染症などによる経済環境の変化に対応するための新たな働き方への対応が求められています。

取組の方針

- 働きやすい環境づくりに向けて、関係機関と連携して、勤労者の支援や、働き方改革などの啓発に取り組みます。

主な事業	勤労者生活等支援事業	産業振興課

総合戦略 国土強靱化地域計画



市民が安心して消費生活を送ることができています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
消費生活センターの認知度	69.6%	85%

消費者を取り巻く環境はめまぐるしく変化・多様化しており、それに伴い発生する新たな消費生活問題への対応を迫られています。

- 消費生活相談員や担当職員の技能向上など、相談体制の充実に取り組みます。
- 消費者へのさまざまな情報の提供や消費者の意識啓発に積極的に取り組みます。

主な事業	消費生活相談事業	産業振興課



● 「産業・雇用」に関するSDGs指標の例

施策	SDGs指標の例	
施策2-1 自然の恵みを生かした 農林水産業の振興		農業従事者1人あたりの農業産出額
		農業従事者1人あたりの経営耕地面積
		漁獲量及び養殖収穫量の前年比増減率
施策2-2 地域経済の元気と 成長を支える商工業の振興		就業者あたりの市内総生産(市内総生産/就業者数)
		人口1人あたりの製造業粗付加価値額
		市内総生産あたりの製造業粗付加価値額
施策2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興		製造業労働者割合
		市内総生産あたりの観光消費額
施策2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と 労働者・消費者支援		失業率
		年間収入(所得)階級別の世帯割合
		労働生産性

上記は、自治体SDGs推進評価・調査検討会(事務局:内閣府地方創生推進事務局)の「自治体SDGs推進のためのローカル指標検討ワーキンググループ」が作成した「地方創生SDGsローカル指標リスト」の例です。ローカル指標とは、SDGsの「17の目標(ゴール)」と「169のターゲット(達成目標)」に対し、「全国的に公開され利用可能なデータに基づき、全国の自治体の取組を共通の尺度で評価できる指標の例」として作成されたものです。

第1期基本計画では、SDGsの目標の達成に貢献すると思われる施策について、これらの指標を活用して進捗を管理することとし、具体的な指標は実施計画で定めることとします。